

## 府関与ポストの見直しの経過等について

## 1. 今回の再点検の対象法人・ポスト

- 『大阪外環状鉄道 株式会社』 代表取締役社長（常勤）  
『大阪外環状鉄道 株式会社』 常務取締役（常勤）

平成30年度末の建設事業の完了と大阪外環状線（JRおおさか東線）の全線開業が見込まれており、法人を取り巻く状況に変化が生じていることから、再点検を実施する。

## 2. 指定出資法人評価等審議会の意見と関与ポストの変遷

審議会	ポスト	意見
H22.1	代表取締役社長 （常勤）	民営化までは3大株主が責任を持って対応する必要がある。主体性をもって継続するためにも府の関与は必要。
	常務取締役兼 総務部長（常勤）	
H25.12	代表取締役社長 （常勤）	同社は、沿線住民の利便性向上、都心ターミナルの混雑緩和及び沿線地域のまちづくりへの貢献等に向け、既存の城東貨物線を活用して、おおさか東線を整備するために、大阪府・大阪市・JR西日本が中心となって設立した法人であり、平成20年3月に南区間（放出～久宝寺）を開業し、現在、残る北区間（新大阪～放出）の平成30年度末の開業をめざして、建設事業を進めているところである。 設立の経緯などを踏まえると、少なくとも建設事業が完了する平成30年度末までの間は、大阪府・大阪市・JR西日本の3大株主が責任をもって対応するとしたスキームが維持される必要があり、主体性をもって建設事業を継続するためにも府の関与が必要である。
	常務取締役 （常勤）	
H28.7	代表取締役社長 （常勤）	【一括審議のため、同上】 同社は、沿線住民の利便性向上、都心ターミナルの混雑緩和及び沿線地域のまちづくりへの貢献等に向け、既存の城東貨物線を活用して、おおさか東線を整備するために、大阪府・大阪市・JR西日本が中心となって設立した法人であり、平成20年3月に南区間（放出～久宝寺）を開業し、現在、残る北区間（新大阪～放出）の平成30年度末の開業をめざして、建設事業を進めているところである。 設立の経緯などを踏まえると、少なくとも建設事業が完了する平成30年度末までの間は、大阪府・大阪市・JR西日本の3大株主が責任をもって対応するとしたスキームが維持される必要があり、主体性をもって建設事業を継続するためにも府の関与が必要である。
	常務取締役 （常勤）	